

公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和6年度第6回理事会議事録

日時：令和6年10月16日（水）19時00分～21時14分

場所：都臨技事務所 オンラインWeb会議システム（Zoomミーティング）

議長：原田

議事録作成：伊藤

出席：

（東京都臨床検査技師会事務所にて参加）25名

原田、中村、米山、山方、浄土、竹澤、加藤、近藤、堀口、浅野、宿谷、飛知和、末永、山崎、市川、岩瀬、府川、堀田、沖倉、本間、猪俣、神田、伊藤、高橋監事、長島監事

以下の出席者は、Web会議システム「Zoomミーティング」により参加した。

（職場から参加）1名

遠藤監事：勤務先 東京都千代田区神田神保町1-48 税理士法人 MYユニット

計25名

欠席：乙川、長島

議事の経過の要領およびその結果

定刻

東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web会議システムにより、出席者の音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

理事会開催前に、日本臨床検査技師会の横地常広会長より日臨技の抱える課題についてお話があった。

1. 議事録

- ・令和6年度第5回理事会議事録が承認された。
- ・2024年度第6回執行理事会議事録が承認された。

2. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・令和6年度第5回理事会以降、委員会が開催されていないため、報告事項なし。
- ・次回の委員会は10月21日に開催予定

(2) 編集委員会

- ・第4回編集委員会報告がなされた。
- ・杏林舎との話し合いで、入稿と校正を行う際に専用のWebシステムを使用して行うとの説明がなされ、これを踏まえた今後の予定等を話し合った。
- ・会誌6月号および10月号の発行に向け、今週末に印刷会社と出版会社と最終打合せを行う予定。
- ・6月号・10月号それぞれに入稿した原稿の校正等の進捗状況を調べ、今後、原稿の各号への振り分けを話し合う。
- ・10月号に載せられるように調整するが、日本産業社の負担が大きくなる場合は杏林舎への依頼も検討している。
- ・会誌2月号の入稿スケジュールにて、11月5日が入稿期日となっているため、掲載予定のものは期日までお願いしたい。

(3) 精度管理調査委員会

- ・第4回精度管理調査委員会報告がなされた。
- ・データの二次利用について、原田会長に日臨技での見解を確認中である。

(4) 生涯教育制度実行委員会

- ・2024年9月の生涯教育制度実行委員会の報告がなされた。

2) 学会運営部

(1) 第19回東京都医学検査学会

- ・第3回東京都医学検査学会企画委員会報告がなされた。
- ・募集していた演題数は56演題集まり、各セッションの座長も決定した。
- ・日本光電工業株式会社が賛助会員として登録されておらず、今学会の参加可否についての審議依頼がなされた。
- ・株式会社タウンズは賛助会員として入会予定。

(2) 第20回東京都医学検査学会

- ・第20回東京都医学検査学会準備委員会報告がなされた。
- ・開催日は2025年12月7日を予定している。
- ・会場使用について山方副会長より秋葉原UDXに確認してもらい、仮押さえは12月1日から可能であるとの回答をいただいた。
- ・学会タイトルは、中村学会長の「検査技師の未来を次世代に繋ぐ」という意向を踏まえ、「ミライへの継承 一つなぐべき「義」

「志」-」を仮タイトルとした。

- ・12月8日の学会に間に合うように、沖倉学会事務局長を中心にポスター作成を行う。

3) 支部運営

(1) 各支部

東支部：10月13日に江戸川区民まつりに参加した。使用機器について、前回トラブルがあったため機器を変更し、延べ601名を測定した。10月20日に江東区民まつりに参加予定である。

西支部：10月6日に稲城・健康まつりに参加した。骨密度測定を行い、延べ176名を測定し、大きなトラブルなく終了した。10月20日に小平市民まつりに参加予定であり、血管年齢測定を行う。

南支部：11月2日、3日に渋谷区くみんの広場ふるさと渋谷フェスティバルに参加予定である。

北支部：10月20日に大新宿区まつりに参加予定である。参加に伴い、10月4日に診療所開設申請書類一式を新宿保健所に提出した。診療所開設に伴い、今年より、開設が1日であっても検体検査の精度確保に関する書類準備が必要であると指示があったため、SOPや機器保守作業書、試薬管理台帳等の書類を揃え、当日朝に会場でチェックを受けることとなっている。必要書類は臨時の診療所ため、当日に係る範囲で、市川理事が作成した。タスクシフト/シェア講習会の実務委員は、12月22日と1月25日の募集を呼び掛けている。

- ・10月31日に支部業務連絡会議を開催する予定である。

(2) 選挙管理委員会

- ・末永理事より、電磁投票システムのデモンストレーション参加協力に対する謝辞が述べられた。
- ・11月の執行理事会で、i-vote社の見積もりをもとに提案する予定である。

(3) タスクシフト/シェア講習会

- ・10月27日に開催予定の参加希望者が定員に満たなかったため、埼玉県と神奈川県に参加枠を開放し満員とした。
- ・1月以降の講師の先生方の予定が届いた。
- ・今後の開催について、参加申し込みが伸び悩んでいることを踏まえ、月1回程度の開催で進めていく予定。

4) 地域保健共催事業部

(1) 検査と健康展

- ・フォトスポット用のポスター案が提示され、デザインは日臨技のロゴは使用できなかったため、都臨技のロゴで作成した。
- ・パネルや椅子のレンタル料が高価であるため、別案を考えている。

(2) エイズフェス

- ・検査と健康展で作成したフォトスポットのポスターを、エイズフェスでも使用する予定。

(3) 学生対象講演

報告事項なし

(4) 都民公開講座

- ・チラシ1,000部を印刷し、各支部参加のまつりで配布している。
- ・チラシのデザイン料が発生し、予算申請外となったため、次期予算案には組み込む予定。

(5) STI 予防教室

- ・9月26日に東京電子専門学校でのSTI 予防教室を開催した。
- ・講師は宮本幹事と山崎幹事が務め、学生48名が受講した。
- ・来年度も開催していただきたいとのご要望をいただいた。

(6) 社会人交流会

報告事項なし

(7) 教育施設連絡者会議

- ・11月14日にWeb会議を行う予定である。
- ・日臨技が作成した臨床検査技師紹介のビデオや、学生対象講演のアナウンスを行う予定。

(8) その他報告

報告事項なし

5) 会計部

(1) 会計部報告

- ・2024年9月の会計部報告がなされた。
- ・2024年9月の収支会計報告がなされた。
- ・予算管理月報は、第2四半期を締めたところで中間監査に提出する。
- ・機関誌発行について、例年は50%を超えているが、今年度は発行できていないため9%となっている。
- ・機関誌広告費11,840円について、詳細を確認する。(浄土理事)

6) 庶務部

(1) 庶務部報告

- ・庶務部報告がなされた。正会員数 7,710 名、賛助会員 67 社、学生会員 44 名、名誉会員 12 名。
- ・2024 年度理事研修会の資料は、フォルダにアップロードされている。
- ・新入会会員の審議依頼がなされた。
- ・新入会学生会員の審議依頼がなされた。
- ・退任届の運用規程を作成中で、今年度中に報告する予定。
- ・賛助会員である株式会社イムコアが吸収合併された。
- ・事務所の LED 交換の工事業者の選定を行っている。
- ・事務員の方 1 名が急遽、今年度いっぱいお休みとなった。公募すると時間を要し、短期間での採用が難しいため、執行理事会で派遣を公募する意見が挙げられた。派遣会社 5 社に公募を出し、2 社から回答がきた。10 月 21 日に事務所の見学に来られ、面接を行う予定。
- ・長期休職の場合は 4 月に復職をする前提とし、復職するまでの間を派遣の方をお願いする予定。
- ・会章の登録が終了した。1 月開催予定の新春の集いで発表する予定。
- ・11 月 22 日 18 時 30 分より中間監査が行われる。
- ・令和 7 年度の事業計画書の提出フォルダを、理事会資料のフォルダに作成した。令和 6 年度の完成版をサンプルとして載せてあるので参考にし、作成したファイルは 11 月 20 日までに加藤理事へメールしていただくようお願いしたい。

(2) 役員候補者選出委員会

報告事項なし

7) 事務局

(1) 事務局報告

- ・2024 年 9 月の事務局報告がなされた。
- ・令和 6 年度 HIV/AIDS 症例懇話会の後援および第 17 回 1 都 2 県臨床化学検査研究班合同研修会共催について承諾した。
- ・11 月 2 日に市ヶ谷法曹ビルに消防点検が入る。

(2) 表彰選考委員会

- ・日臨技より推薦の依頼があり、選考をおこなっている。
- ・名誉会員になった方の人数を再度確認し、表彰漏れのないようにする。(竹澤理事)

(3) 広報委員会

- ・2024 年 9 月分の広報委員会報告がなされた。

(4) 青年育成委員会

- ・第 3 回青年育成委員会報告がなされた。
- ・都道府県地域ニューリーダー育成研修会について、青年育成委員会主催の懇親会と時期が重なるため見送りたい旨があったが、予算等の確認の結果、再度確認することとした。(山崎理事)
- ・懇親会は引き続き開催する予定。
- ・青年育成の講師をされていた株式会社イムコアの方より、講習会に参加した方の会員情報を共有してほしいとの要望があった。参加者情報使用願いを提出していただいたが、会員情報の使用目的を確認したところ、営業のコミュニケーションツールとして使用することと、情報提供はしないこととした。

8) 副会長報告

中村副会長より

- ・事務員の方に業務依頼する際は、時間に余裕を持ち、的確な指示をお願いしたい。

米山副会長より

- ・令和 6 年度大規模地震時医療活動訓練に参加した。
- ・訓練時は数回模擬的なメールが送信された。日臨技より報告が来次第また展開する。

山方副会長より

- ・杏林舎との契約について、8 月 1 日付で契約しており、契約書をアップロードしている。

9) 会長報告

- ・令和 6 年度大規模地震時医療活動訓練(政府訓練)の実施について原田会長より報告があった。今年度は千葉県が訓練の開催地となったが、次年度の開催地は決まっていない。近隣の県で開催する際は、東京都も参加する可能性がある。また開催地が東京都の場合もあるため、都臨技としてどのように活動するか災害担当を中心に考える必要がある。模擬訓練ではあったが、関係各所と連絡を取り合いながら本格的に行われた。千葉県で大地震が起こった場合、日臨技事務所がある大森は津波による被害を受ける可能性がある。都臨技事務所は津波の被害は低いものの、ビルの安全や理事が集まれる保障はできない。東京都内の各施設の被災状況の把握は各地臨技が行うこととなっているため、情報収集をどのように行うかを災害マニュアルにも組み込んでいき、いざという時に早急に行動できるように準備しておくことが必要。第一優先は所属施設であるが、目処が立ったら技師会としても活動することをお願いしたい。
- ・「体外診断用医薬品に係る安全対策のあり方に関する研究」における体外診断用医薬品の添付文書に関するアンケート調査へのご協力をお願いについて、施設連絡者宛に依頼がなされ、施設ごとに回答いただくようにした。未回答の施設がある場合は、回答していただくようお願いしたい。

- ・避難所運営ゲーム HUG について、報告がなされた。
- ・都道府県臨床検査技師会で行っている精度管理調査試料購入申し込みについて、12月13日が締め切りの予定である。
- ・日臨技生涯教育推進研修会について、報告がなされた。
- ・厚生労働省指定の研修会について、検体採取の受講修了者数は 4,995 名 (66.7%)、未受講者数は 2,491 名となっている。タスクシフト/シェアの受講修了者は 2,038 名 (27.5%)、未受講者数は 5,448 名となっている。タスクシフト/シェアは 5 年間を目標としており、3,934 名 (51.81%) まで終了する予定。受講者数は伸び悩んでおり、次第に他県と合同開催や支部開催となっていくことが示唆される。
- ・令和 8 年診療報酬改定について、報告がなされた。増点希望項目として、血液採取量、鼻腔・咽頭ぬぐい液採取量、ABO 式血液型、Rh 式血液型が挙げられている。新規保険適用希望項目として不規則性抗体同定検査が挙げられ、保険適用削除項目として出血時間が挙げられている。精度管理が確立されておらず、測定結果が不確かな項目については保険収載から削除される。算定要件の緩和について、ノロウイルス抗原検査は年齢制限を撤廃し、下痢症状を有する患者全般とすることとした。
- ・第 33 回首都圏・関甲信支部合同病理細胞検査研修会の開催について、案内がなされた。
- ・予算と事業計画について、各部局からの予算ならば事業計画は 11 月 30 日まで申請を行い、1 月の執行理事会で議論し、1 月の理事会で立案、2 月の理事会で承認する流れで進めたい。
- ・今後の事業計画として、検査と健康展、リーダー育成研修会について費用対効果を鑑み、開催是非の見直しが行なわれる予定。
- ・会議体の運営方法について、執行理事会で話し合われた。理事会への提案事項は、まず執行理事会に提案し、執行理事が各セッションで協議したのち理事会への提案事項として提出する流れとする。理事会資料は執行理事会開催以降に挙げられる予定で、各部局の報告等は閲覧期間が今までより長く設けられる。執行理事会開催以降に行われた委員会等は、理事会の前であっても次月の執行理事会で話し合われる。理事会の資料は、報告事項・審議事項・その他の案件という形で分け、よりわかりやすいようにしていく。来月から試行していくため、留意していただきたい。

3. 審議事項

- 1) 学会運営部から提出された日本光電工業株式会社の第 19 回東京都医学検査学会の協賛メーカーとしての参加について審議の結果、26 人中 26 人の賛成により承認された。
- 2) 新入会会員 32 名 (新入会 28 名、再入会 4 名) について審議の結果、26 人中 26 人の賛成により承認された。
- 3) 新入会学生会員 6 名について審議の結果、26 人中 26 人の賛成により承認された。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し 21 時 14 分に解散した。本日の Web 会議システムを併用した理事会は、終始異常なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。

2024 年 10 月 16 日 (水)
 公益社団法人 東京都臨床検査技師会
 議事録作成 伊藤葵

議長
(原田)

原田 典明



監事
(高橋)

高橋 秀治



監事
(長島)

長島 義男



監事
(遠藤)

遠藤 盛人

